

議会構成替え任期後半の 新体制がスタート

**新年明けましておめでと
うございます。本年も宜しく
お願いを申し上げます。**

雲南市が発足して10年が経過しました。議会も3期目の折り返しとなり、12月議会において議会の構成替えが行われました。選挙の結果、正副議長に藤原信宏議員、周藤強議員が選出されました。各常任委員会、特別委員会も交代し新体制になりました。小生は総務常任委員会の他、議会運営委員会、島根原発対策特別委員会、雲南市・飯南町一部事務組合に所属します。議会報告会は今後の**吉田・掛合交互**に開催します。地域の課題や積極的なご意見をお聞かせください。

一般会計補正予算

- 補正総額 一億八百万円余。
- 内 道路維持費(各町合算で) 千九百万円余
- 有害鳥獣捕獲奨励金 約九百万円(捕獲頭数増)
- 高齢者等タクシー利用料金助成 約240万円の増額
- 知事・県議選挙費 1千3百万円余(人件費他)

尾道・松江間全線開通 3月22日に決定

待望久しかった高速道尾道・松江線(やまなみ街道)がいよいよ全線開通します。平成元年2月に基本計画が決定。以後順次施工命令が出され途中では計画中止の危機もありましたが関係各位の知恵とご努力で乗り越え、26年目にして遂に全線完成することになりました。この開通で中国道、山陽道、更に瀬戸内と直結することになります。これまで道の**駅たらば壱番地**に年間約50万人が立ち寄りついています。今後、四国4県とも繋がりが更なる増加が確実に期待されます。トイレ、駐車場、売場場の拡張など抜本的な対応が喫緊の課題です。また雲南地域への誘客対策、案内看板設置、一般道の整備や安全対策等課題多しです。



トンネルを抜けると尾道～しまなみ街道で四国はそこ。夢拡大。

吉田町の見所 生涯学習交流館



生涯学習交流館では各種演奏会や講演会が行われる。吉田町が誇る迎賓館であり昭和が色濃く薫る文化施設です。

吉田中学校の隣に木造建築物がある。元吉田小学校講堂。平成8年、中学校統合に併せ曳き移転され現在は「生涯学習交流館」として使用されている。この建物は昭和12年12月に竣工。1町4反歩を田部家から寄贈を受け、更に建築用材は一切田部家山林から良材の選択伐採許可を受けた。当初計画が広大で県の許可が下りず縮小され、残材は県立中央病院の前身「松乃舎病院」に使用されたという。木造の本校舎は昭和52年の火災で焼失したがこの講堂は消防団必死の防火活動で焼失を免れた。中に掲げられた「田部長右衛門長秋氏」の肖像画はいち早く持ち出され難を免れた。この講堂の見所は正面の樫の一枚板。田部の一番樫で今の技術なら3、4枚でも取れると云われる厚さ有。また大扉に取り付けられた鳳凰は

長右衛門朋之氏一大力作の刀刻で吉田の子どもたちの自奮大成を願って彫られた。(吉田教育百年史)

農業政策に関する 意見書を提出

昨年からの農家の経営所得安定対策が見直された中、島根県の26年産米概算金は60Kg当たり9千円と大幅に引き下げられた。このまま低価格状況が続けば生産資材の高騰、有害鳥獣の被害拡大も相まって小規模農家の営農意欲が衰退するばかりでなく地域農業の中心となつていく担い手・法人などに大きな影響を及ぼし農地の維持・保全に深刻な打撃を与える。雲南市議会として決議し意見書を関係先に提出しました。

- 1 直接支払交付金の拡充継続
- 2 中山間地域の農業振興
- 3 担い手・営農組織が安定して農業経営が行われる農業施策。
- 4 TPP 関連決議の尊重。

編集後記 ▼突然の師走選挙は想定外。与党の圧勝で地域創生が脚光を浴びてきました。山間地農業の危機です。強力な地方の元氣策を打ち出して頂きたい。▼「イスラム国」他所事ではなくなつてきました。平和を。